

科目名	現代ファイナンス論Ⅱ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	■必修 □選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Theory of Modern FinanceⅡ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	金融の基礎理論と金融論の視点を学ぶ。				
到達目標	ファイナンスの基本を身につけ、現実の金融取引の仕組みや金融の基礎理論を理解できるようになること。				
授業概要	この授業では主に金融の仕組み、基本ツール、金融市場、リスクの基本を学習する。				
授業計画 講義資料と教科書を併用して授業を進める。					
第1回	仕組み金融の仕組み① ABS 証券と資産の証券化				
第2回	仕組み金融の仕組み② リーマンショックをもたらしたCDS (クレジット・デフォルト・スワップ)				
第3回	金融市場の変容① 金融ビッグバンによる世界的な金融再編				
第4回	金融市場の変容② リーマンショックへの市場の反応とリフレ派の台頭				
第5回	金融市場の変容③ 金融先物市場の登場とボラティリティ				
第6回	金融市場の変容④ ヘッジファンドとは何か				
第7回	金融市場の変容⑤ システミックリスクとサブリンリスク				
第8回	現代ファイナンスの要諦① 仮想通貨(暗号)通貨の誕生と変遷				
第9回	現代ファイナンスの要諦② ブロックチェーン・デジタル通貨とは				
第10回	現代ファイナンスの要諦③ フィンテックが変革する金融と企業の投資行動				
第11回	現代ファイナンスの要諦④ 資本市場の不完全性とMM理論				
第12回	現代ファイナンスの要諦⑤ 米国の出口戦略と長期金利の変動				
第13回	SDGsとESG金融① 欧州グリーン・ディールとEUタクソミー				
第14回	SDGsとESG金融② 日本型グリーンリカバリー				
第15回	新型コロナのパンデミックと新興国の巨大債務問題の行方				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと				
履修条件 受講のルール	なし。				
テキスト	プリント配布				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

学生への  
メッセージ

仮想通貨とは何なのか？FRB(FOMC)による政策金利の引き上げ、日銀のレジームチェンジなど金融が面白い！